

●●●● 活動報告 ●●●●

〈BIM小委員会〉

～2024年度BIM小委員会活動報告～

令和6年度に行った講習会及び委員会活動のご報告です。

1. BIM講習会(WEBセミナー)ご報告

開催日：2024年7月18日(木)

15：00～16：00

参加者：44名

講師：株式会社池下BIM設計

BIMエンジニア 田中 健悟様

BIMマネージャー 三木 秀樹様(工学博士)

テーマ「BIMの国際規格ISO19650認証取得」

について

株式会社池下設計様が取得されたBIM国際規格であるISO19650について御講義頂きました。

ISO19650は英国で作られた規格であり、御講義を拝聴した限りでは主にBIMを利用した情報管理システムである様に感じました。

その範囲は主にデータ管理に重きがおかれ、管理の一元化を進めているようです。

ONEファイルで作業する時代が目前に迫っています。ファイルのチェック、認証、管理を行うにはシステムを理解した専任の人間が必要なのだと痛感する内容でした。

現在でもスーパーゼネコン等ではONEファイル化を進めているようですが、やはり複数の会社が係わる事で難易度は高そうです。

今後は間違いなく全てがクラウド化されて複数の業種で共有する様になるので、フォルダ階層の作り方、チェック、承認の行い方等の整備は必要なのだと感じております。

2. BIMによる確認申請の現状について

国土交通省より2026年春より建築確認におけるBIM図面審査が開始されると発表がありました。

BIM図面による確認審査については国土交通省建築BIM推進会議の建築確認部会で協議が行われております。この部会には大手確認審査機関が参画

されており、BIMビューワー(無料閲覧用BIMソフト)を使って確認申請図の審査が出来るかを協議されています。

建築については防火区画の表現等BIMでの表現方法を細部まで煮詰めているようです。

ただし設備設計の審査についてははまだあまり具体化されていないと言うのが部会を傍聴した実感でした。令和6年8月にはBIM審査ガイドラインの素案も発表されていますが、具体的な表現方法までは踏み込んでおらず、消防同意等の問題も含め2026年春に実行するには時期尚早の感は否めません。BIMによる審査が進められた場合、構造・設備もBIMでの提出が求められるとの話も議論されており、注視しておくべき事項だと思われま

3. BIMの属性定義の標準化について

国土交通省のBIM活用推進協議会よりBIMのオブジェクトに対する属性定義の意見書が出されました。

標準化されたオブジェクト(ジェネリックオブジェクト)の属性定義の内容を決めていく事が主な主題となっています。当小委員会でもこれについて議論を行いました。これに関して積極的に携わっている委員がおらず活発な議論は出ませんでした。この分野において、機械設備に関してはある程度たたき台が整備されている印象です。一方電気設備に関してはオブジェクト数自体がかなり少ない印象でした。

BIMに関しての電気設備の立ち遅れが非常に気になる所です。

今後もBIM小委員会ではBIMに関する情報を発信していく予定です。

皆様の意見もお待ちしておりますので今後ともよろしくお願い致します。

(BIM小委員会委員長

株式会社空間設備コンサルタント 箱田 晃一)